

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

整理番号 403236

製品の名称 : UV-LED レジン 星の雫 ハード

供給者の名称	株式会社パジコ 御殿場工場
住所	〒412-0047 静岡県御殿場市神場 673-3
電話番号	0550-89-7521 (代)
担当部門	研究開発室
担当者	遠藤 優太
FAX 番号	0550-89-5951
緊急連絡先	0550-89-7536
E-mail	safety@padico.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	手芸作品及びアクセサリーの制作

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	対象外
	可燃性又は引火性気体 (化学的に不安定な気体を含む)	対象外
	エアゾール	対象外
	燃焼性又は酸化性気体	対象外
	高压気体	対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	対象外
	自己反応性化学品	対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	対象外
	自己発熱性化学品	対象外
	水反応可燃性化学品	対象外
	酸化性液体	区分外
	酸化性固体	対象外
	有機酸化物	対象外
	金属腐食性物質	対象外
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)

	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入：気体)	区分外
	急性毒性 (吸入：粉じん)	区分外
	急性毒性 (吸入：ミスト)	区分外
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷または眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器毒性、単回ばく露	区分外
	特定標的臓器毒性、反復ばく露	区分外
	吸引性呼吸器有害性	区分外
環境に対する有害性	水生環境有害性 (急性)	区分外
	水生環境有害性 (慢性)	区分外
	オゾン層への有害性	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	警告
危険有害性情報	皮膚刺激
	強い眼刺激

注意書き

- 【安全対策】** 電気機材は防爆構造にするほか、静電気、スパーク等による着火源を生じないようにすること。
蒸気やミストを吸入しない事、局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うこと。
保護手袋、保護眼鏡等の適切な保護具を着用し、皮膚、眼、衣服等にはつけないこと。
取扱い後は手洗い、うがい及び洗顔を充分に行うこと。
こぼれた場合には布、土砂等に吸収させて蓋つきの空容器に回収すること。
- 【応急処置】** 火災の場合は粉末、二酸化炭素、泡で消火すること。
吸入した場合は直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静に保った後、

医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合は付着物を拭き取った後、石けん水でよく洗うこと、かゆみや炎症等の症状がある場合は速やかに医師の診断を受けること。

眼に入った場合は清浄な水で最低 15 分間洗眼した後、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合は水で口の中を良く洗い、直ちに医師の手当てを受けること。

【保管】 適切な換気のある乾燥した冷暗所又は冷蔵庫に密栓して保管する。その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従うこと。

【廃棄】 内容物や容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託すること。

国/地域情報 危険物第四類第 3 石油類 危険物等級Ⅲ（非水溶性液体）

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : アクリル系紫外線硬化樹脂

成分及び含有量

成分	含有量(%)	官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	CAS No.
アクリル酸エステル	42-52	企業秘	企業秘
アクリル変性オリゴマー(I)	12-22	企業秘	企業秘
アクリル変性オリゴマー(II)	8-18	企業秘	企業秘
メタクリル酸エステル	6-12	企業秘	企業秘
ポリチオール	8-18	企業秘	企業秘
添加剤(光開始剤、香料他)	<1	企業秘	企業秘

4. 応急措置

眼に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分間洗眼した後、医師の手当てを受ける。洗眼の際、眼球、まぶたのすみずみまで水がいきわたるように洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずして、その後も洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合 : 直ちに付着物を拭き取った後、水と石けんでよく洗う。衣類や靴に製品が付着した場合は速やかに脱ぎ捨てる。かゆみや炎症等の症状がある場合は速やかに医師の診断を受ける。

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静に保つ。速やかに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口の中を良く洗い、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、二酸化炭素、泡
- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水、水噴霧
- 特有の危険有害性 : 熱、火花及び火炎で発火する恐れがある。
激しく加熱すると燃焼する。
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 付近の着火源を絶ち、保護具を着用して消火する。流出がある場合には土砂、土嚢等で流出を止めるように努め、容器を安全な場所に移動させる。
- 消火を行う者の保護 : 有害なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急措置 : 暴露防止のため、作業は風上から行い、保護具を着用して蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。風下の人を避難させ、漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。付近の着火源を取り除き、消火機材を準備する。
- 環境に対する注意事項 : 本製品を含む廃水の公共用水域への排出又は地下浸透を防止するため、本製品がこぼれた床面等を水で洗い流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法
及び機材 : 危険でなければ漏れを止める。
- 回収・中和 : 少量の場合は、ウェス、土砂などに吸収させて蓋付きの空容器に回収する。火花を発生しない安全なシャベルなどを使用する。多量の場合は、土砂などで流れを止め、安全な場所に導いて回収する。
- 二次災害防止策 : 全ての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策 : 火気厳禁。電気機材は防爆構造にするほか静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。吸入・接触のおそれがあるときは適切な保護具を使用する。
(局所排気・全体排気) 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。

安全取扱注意事項	:	暴露防止のため、保護具を着用して作業を行う。蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。強酸、強アルカリ、酸化剤（過酸化剤等）、アミン等との接触は避ける。	
衛生対策	:	取扱い後は、手洗い、うがい及び洗顔を充分に行う。	
保管	技術的対策	:	消防法の規制に従う。
	安全な保管条件	:	適切な換気のある乾燥した冷暗所又は冷蔵庫に密栓して保管する。その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従う。 強酸、強アルカリ、酸化剤（過酸化剤等）、アミン等から離して保管する。
	安全な容器包装材料	:	法令の定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	:	設定されていない	
許容濃度			
	日本産衛学会	:	設定されていない
	ACGIH	:	設定されていない
設備対策	:	蒸気を吸入しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。 取扱作業所の近くに手洗い、洗眼及び身体洗浄の為の設備を設け、その位置を明示する。	
保護具	呼吸用保護具	:	有機ガス用防毒マスク
	手の保護具	:	ポリエチレン手袋、ゴム手袋
	眼の保護具	:	側板付き普通眼鏡型、又はゴーグル型保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	:	作業衣又はエプロン型簡易保護服、安全靴（耐油性があり液が浸透しにくい構造のもの）

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	:	高粘度液体
色	:	薄い青紫色透明
臭い	:	特異臭
pH	:	データなし
融点・凝固点	:	データなし

沸騰範囲	:	データなし
引火点	:	172℃以上（引火点混合指数からの計算値）
爆発範囲	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
比重	:	約 1.17（25℃）
溶媒に対する溶解性	:	有機溶媒（トルエン、アセトン、エタノール等）に溶解。
n-オクタノール/水分配係数	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
粘度	:	2600-3800mPa・s（25℃）

10. 安定性および反応性

化学的安定性	:	通常の条件下では安定。高温、光照射により発熱を伴い重合する。
危険有害反応可能性	:	高温、光照射により発熱を伴い重合する。 強酸、強アルカリ、過酸化物、アミン等との混合で急激な反応を引き起こす可能性がある。
避けるべき条件	:	高温、光照射
混触危険物質	:	強酸、強アルカリ、過酸化物、アミン等
危険有害な分解生成物	:	データなし

11. 有害性情報

急性毒性 経口	:	有用な情報なし
経皮	:	有用な情報なし
吸入	:	有用な情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:	ポリチオール、香料が区分 2 より混合物についても区分 2 として（カットオフ値 \geq 10%）
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	:	ポリチオールが区分 2A により、混合物についても区分 2A とした（カットオフ値 \geq 0.1%）
呼吸器感作性	:	有用な情報なし
又は皮膚感作性	:	
生殖細胞変異原性	:	有用な情報なし

発がん性	:	有用な情報なし
生殖毒性	:	有用な情報なし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	:	有用な情報なし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	:	有用な情報なし
吸引性呼吸器有害性	:	有用な情報なし

12. 環境影響情報

水性生物有害性(急性、慢性)	:	有用な情報なし
生態毒性	:	有用な情報なし
残留性・分解性	:	有用な情報なし
生体蓄積性	:	有用な情報なし
土壤中の移動性	:	物理化学的性質から見て大気、水域、土壤環境に移動しうる。
他の有害影響	:	漏洩、排気などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。
汚染容器及び包装	:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	:	IMO の規制に従う。
	陸上規制情報	:	ICAO / IATA の規制に従う。
	国連番号	:	該当せず
	国連分類	:	該当せず
国内規制	陸上規制情報	:	消防法の規制に従う。
	海上規制情報	:	船舶安全法の規制に従う。

- 航空規制情報** : 航空法の規制に従う。
- 特別安全対策** : 容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の内容に積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
火気厳禁。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

- 化学物質管理促進法** : 指定物質を含まず。
- 労働安全衛生法** : 通知対象物を含まず。
- 消防法** : 危険物第四類第3石油類 危険等級Ⅲ（非水溶性液体）
- 毒劇物取締法** : 該当せず

16. その他の情報

引用文献

- ① 日本化学工業協会（2012）
『GHS ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針』
 - ② 製品評価技術基盤機構（NITE）
『化学物質総合情報提供システム（CHRIP）』
<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
 - ③ 国立医薬品食品衛生研究所（NIHS）
『国際化学物質安全性カード（ICSC）』
<http://www.nihs.go.jp/ICSC/>
 - ④ 国際連合（2011）
『化学品の分類及び表示に関する世界調和システム（GHS） 改訂4版』
 - ⑤ 弊社入手の安全データシート及び入手資料
- * 記載内容は、現時点で入手出来た資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しましては、いかなる保証をなすものではありません。
また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

以上